

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅰ	c		13101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

英米児童文学の原書を読解することにより英語力の向上を図るとともに、文学作品の鑑賞眼を養う。また、演習で学んだことより、自分の考えをまとめ発表する力を身につける。。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

英米児童文学の代表的な作品を読解する。まず比較的読みやすい"The Wonderful Wizard of Oz"を読解後、それぞれの考えをまとめて発表する。アダプテーション作品についても考察する。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 2 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 1 ～ Chapter 2
- 3 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 3 ～ Chapter 4
- 4 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 5 ～ Chapter 6
- 5 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 7 ～ Chapter 8
- 6 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 9 ～ Chapter 10
- 7 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 11 ～ Chapter 12
- 8 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 12 までの復習
- Review Quiz
- 9 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 13 ～ Chapter 14
- 10 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 15 ～ Chapter 17
- 11 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 18 ～ Chapter 20
- 12 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 21 ～ Chapter 23
- 13 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 23
- 総復習とReview Quiz
- 14 "The Wonderful Wizard of Oz" についての各自の発表
- 15 "The Wonderful Wizards of Oz" のアダプテーション作品について
- 総復習

授業の方法

各自が内容について調べて発表する。また、読解後にテーマを決めてグループディスカッションを行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（発表含む）40%、小テスト 20%、レポート 40%
課題、小テスト、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

L. Frank Baum, "The Wonderful Wizards of Oz" Dover Children's Evergreen Classics
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は発表形式で行いますので、積極的に参加すること。
予習と復習が必須です。
授業には必ず辞書を持参すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅰ	d		13101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
酒井 新一郎	必修	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

研究テーマは「観光による地方創生」で観光による地域経済の活性化を図るための仕組みについて研究する。地域社会との関りから地域住民にとっても有益である「持続可能な観光」のあり方を研究する。特に訪日観光客（インバウンド）を地方へ誘客するためのマーケティングやプロモーションについての理解を深め、地域の観光消費額を上げることを主眼とする。フィールドワークを通じて調査方法を学び、発表を通じてプレゼンテーション力を養う。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

観光による地域活性化につての事例研究を行う。地域の観光資源調査（フィールドワーク）を実施準備を行い、観光地における課題と解決策を調査する。調査方法や観光地マーケティングやマネジメントを学び、観光による地域創生のあり方について考察する。

授業計画

- 1 ガイダンス
- 2 観光による地方創生①
- 3 観光による地方創生②
- 4 観光による地方創生③
- 5 観光による地方創生④
- 6 観光地と地方創生⑤
- 7 観光地のブランド化①
- 8 観光地のブランド化②
- 9 観光地のブランド化③
- 10 フィールドワーク準備①
- 11 フィールドワーク準備②
- 12 フィールドワーク準備③
- 13 フィールドワーク準備④
- 14 フィールドワーク準備⑤
- 15 まとめ

授業の方法

課題テーマについてリサーチとプレゼンテーション及びディスカッションを主体に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、課題30%、プレゼンテーション20%

欠席について

大学の規定通り。

テキスト

適時プリントを配布する。

参考図書

『DMO観光地経営のイノベーション』 高橋一夫著 学芸出版
『観光DMO設計・運営のポイント』 日本政策投資銀行 地域企画部著 ダイアモンド社
『観光ブランドの教科書』 岩崎邦彦著 日本経済新聞出版

留意事項

演習は自主性、積極性が求められる。
フィールドワークへの参加は必須である。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	b		13105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれてる理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

授業計画

- 1 個人課題の研究発表・討論・講評
- 2 個人課題の研究発表・討論・講評
- 3 個人課題の研究発表・討論・講評
- 4 個人課題の研究発表・討論・講評
- 5 個人課題の研究発表・討論・講評
- 6 個人課題の研究発表・討論・講評
- 7 個人課題の研究発表・討論・講評
- 8 個人課題の研究発表・討論・講評
- 9 個人課題の研究発表・討論・講評
- 10 個人課題の研究発表・討論・講評
- 11 個人課題の研究発表・討論・講評
- 12 個人課題の研究発表・討論・講評
- 13 個人課題の研究発表・討論・講評
- 14 個人課題の研究発表・討論・講評
- 15 個人課題の研究発表・討論・講評

授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

出席状況（30％）、発表（30％）、レポート（40％）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて配布する

参考図書

必要に応じて紹介する

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	c		13105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

前期に学んだ内容を基礎に、学生の関心の高い英米の児童文学作品の原書を読み、英文の読解力を向上させる。また選んだ作品についてのテーマを考察し、考えをまとめて発表する力を養う。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

前期に引き続き、児童文学の原書を読み、英語力を向上させるとともに、文学の鑑賞力を養う。また、読解した作品のアダプテーション作品を鑑賞し、それらの脚色法等について分析する。さらに、読解した2作品以外にも、学生が関心のある文学作品とそれらのアダプテーション作品についても調査、考察する。最後に、各自の考察を発表する。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 2 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 1
- 3 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 1
- 4 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 2
- 5 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 3
- 6 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 4
- 7 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 5
- 8 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 6
- 9 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 7
- 10 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 8 & 9
- 11 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 10 & 11
- 12 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 12
- 13 "Alice's Adventures in Wonderland" のまとめ
アダプテーション作品の鑑賞と分析
- 14 "Alice's Adventures in Wonderland" についての考察
アダプテーション作品の鑑賞と分析
Review Quiz
- 15 "Alice's Adventures in Wonderland" の内容についての発表

授業の方法

講義後、各自が原書講読をし、授業取り上げた作品について調べて

考察をまとめて発表する。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（発表含む）40%、小テスト 20%、レポート 40%
課題、小テスト、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

Lewis Carroll/ 井上秀子 編注『不思議な国のアリス』開文堂出版
その他は授業中に指示する。
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は発表形式で行いますので、積極的に参加すること。
予習と復習が必須です。
授業には必ず辞書を持参すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	c		13109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

演習Ⅰ、Ⅱで学んだ内容より、各自が定めたテーマについて調査をし、裏付けとなる根拠やデータを明確にして、論理的に文章として表現し、クラスにおいて発表する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

演習Ⅰ、Ⅱで学んだ内容を参考にして、各自がテーマを決定し、研究のための資料、データ、先行論文等を調べて、卒業研究作成の準備を行う。

また、昨年に続き、英米の文学やエッセイなどの原書や時事ニュースを読解することにより、英語力の向上を図る。授業の内容についてディスカッションと発表を行うので、授業準備を万全に行うことが必須である。

授業計画

- 1 イン트로ダクション
卒業研究について
- 2 卒業研究のテーマの発表
- 3 卒業研究のための研究計画を発表する。
- 4 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 5 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 6 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 7 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 8 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 9 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 10 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 11 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 12 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。

学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。

13 卒業研究の構成について発表する。

学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。

14 各自の課題と卒業研究の構成についての発表とディスカッション

15 最終発表を行う。

まとめ

授業の方法

多読図書を読解し、それらのアダプテーション作品を考察する。個人研究の発表とディスカッションを中心にすすめてゆく。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点 20%、発表 40%、レポート 40%

課題、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	d		13109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
酒井 新一郎	必修	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

観光ビジネスによる地域創生及び観光地マネージメントを通じて観光の持つ力について理解を深め、個人研究のテーマについて研究を深めていく。個人研究のテーマは観光領域全般とし各個人のテーマを設定する。研究テーマのキーワードはインバウンド、MICE、旅行ビジネス、航空ビジネス、IR、地方創生、環境ツーリズム。各個人の研究テーマを深め、卒業研究作成を到達目標とする。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

観光ビジネスが地域創生にどのように活用され、また将来、観光ビジネスが期待されることについて考察を深める。各個人の研究テーマについて、個人の研究発表とディスカッションを中心に講義を進める。ゼミ生による積極的な討論により、各自の研究テーマの内容を深めていく。

授業計画

- 1 ガイダンスと個人研究の進め方
- 2 個人研究テーマの発表
- 3 個人研究発表とディスカッション
- 4 個人研究発表とディスカッション
- 5 個人研究発表とディスカッション
- 6 個人研究発表とディスカッション
- 7 個人研究発表とディスカッション
- 8 個人研究発表とディスカッション
- 9 個人研究発表とディスカッション
- 10 個人研究発表とディスカッション
- 11 個人研究発表とディスカッション
- 12 個人研究発表とディスカッション
- 13 個人研究発表とディスカッション
- 14 個人研究発表とディスカッション
- 15 まとめ

授業の方法

各自の研究テーマについて発表とディスカッションを行い、研究内容の課題について確認し考察を深める。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法、その他

授業出席、レポート、発表、ディスカッションなどの取り組み状況を総合的に判断し成績評価する。

欠席について

大学の規定通り。

テキスト

必要に応じて配布する。

参考図書

適宜紹介する。

留意事項

発表者は欠席してはならない。各自個人研究テーマについて積極的に取り組むこと。またディスカッションにも積極的に参加すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	c		13113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

各自が定めたテーマについて調査をし、裏付けとなる根拠やデータを明確にして、論理的に文章として表現し、発表する。それを卒業研究としてまとめる。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

演習Ⅰ～Ⅲで学んだ内容を基礎として、各自のテーマを決定し、調査、研究を行う。授業では、研究のための資料、データ、先行論文等を用意して、ディスカッションと発表を行うので、授業準備を万全に行うことが必須である。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 夏期休暇中の卒業研究の成果を発表をする。
- 2 卒業研究の発表とディスカッション
- 3 卒業研究の発表とディスカッション
- 4 卒業研究の発表とディスカッション
- 5 卒業研究の発表とディスカッション
- 6 卒業研究の発表とディスカッション
- 7 卒業研究の発表とディスカッション
- 8 卒業研究の発表とディスカッション
- 9 卒業研究の発表とディスカッション
- 10 卒業研究の発表とディスカッション
- 11 卒業研究の発表とディスカッション
- 12 卒業研究の発表とディスカッション
- 13 卒業研究の発表とディスカッション
- 14 総まとめ
- 口頭試問について
- 15 卒業研究の口頭試問

授業の方法

各自が選んだテーマについて、書物、文献、論文などの読解、および資料の収集を行う。毎週の成果について、授業において発表とディスカッションを行う。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点 20%、発表 50%、レポート 30%

欠席について

規定に従う。

テキスト

必要に応じて配布する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	d		13113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
酒井 新一郎	必修	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

観光ビジネスによる地域創生及び観光地マネージメントを通じて観光の持つ力について理解を深め、個人研究のテーマについて研究を深めていく。個人研究のテーマは観光領域全般とし各個人のテーマを設定する。研究テーマのキーワードはインバウンド、MICE、旅行ビジネス、航空ビジネス、IR、地方創生、環境ツーリズム。各個人の研究テーマを深め、卒業研究作成を到達目標とする。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

観光ビジネスが地域創生にどのように活用され、また将来、観光ビジネスが期待されることについて考察を深める。各個人の研究テーマについて、個人の研究発表とディスカッションを中心に講義を進める。ゼミ生による積極的な討論により、各自の研究テーマの内容を深めていく。

授業計画

- 1 ガイダンスと卒業研究進行状況報告
- 2 個人研究発表とディスカッション
- 3 個人研究発表とディスカッション
- 4 個人研究発表とディスカッション
- 5 個人研究発表とディスカッション
- 6 個人研究発表とディスカッション
- 7 個人研究発表とディスカッション
- 8 個人研究発表とディスカッション
- 9 個人研究発表とディスカッション
- 10 個人研究発表とディスカッション
- 11 個人研究発表とディスカッション
- 12 個人研究発表とディスカッション
- 13 個人研究発表とディスカッション
- 14 個人研究発表とディスカッション
- 15 まとめ

授業の方法

各自の研究テーマについて発表とディスカッションを行い、研究内容の課題について確認し考察を深める。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法、その他

授業出席、レポート、発表、ディスカッションなどの取り組み状況を総合的に判断し成績評価する。

欠席について

大学の規定通り。

テキスト

必要に応じて配布する。

参考図書

適宜紹介する。

留意事項

発表者は欠席してはならない。各自個人研究テーマについて積極的に取り組むこと。またディスカッションにも積極的に参加すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語学概論			13713	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
佐伯 瑠璃子	選択	2				

授業の到達目標

本講義は英語の成り立ちや英語の仕組みを幅広く理解することを目的とし、英語を科学的にひもといていく。KAISEIパーソナリティーのIn（国際性）を養うと同時に、より理解を深めるためのグループワークを通してK（思いやり）を学ぶ。

授業の概要

英語学の分野で取り扱われている研究領域全体を次の授業計画に従って概観する。英語が人と歩んできた歴史とその今、語や文の構造や仕組み、英語が伝える意味について講義をする。基本的に講義形式をとるが、より深い理解のため、様々な理論を踏まえながらグループワークやディスカッションを通して考える。

授業計画

- オリエンテーション 授業の進め方や履修条件、言語学研究の概説を行います。
- 英語史(1) 英語の成り立ちから現在までの歴史を概観、古期英語
- 英語史(2) 中期英語・近代英語
- 世界の中の英語 世界で使用される英語、現在の国際共通語として使用されている英語
- 音韻論(1) 発音する際の身体の器官、英語の音の構造
- 音韻論(2) 英語の音の構造
- 形態論(1) 分野の概観
- 形態論(2) 語の内部構造、語形成のパターン
- 統語論(1) 分野の概観
- 統語論(2) 文構造とそのパターン
- 意味論(1) 分野の概観
- 意味論(2) 語の意味と文の意味の関連
- 語用論(1) 分野の概観
- 語用論(2) 言葉の意味と話し手の意図
- 振り返り

授業の方法

講義を聞き、学生間のコミュニケーションなどを通してワークシートを完成させる。自身の考えや調べたことを発表する。

準備学修

授業前にはテキストの指定された箇所を読み予習を行う。また、授業後にはハンドアウトで授業内容を復習した上で再度テキストを読み返し理解を深める。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき出席点より4点減点する。遅刻・早退も減点対象。

テキスト

稲木昭子、堀田知子、沖田知子『新・えいご・エイゴ・英語学』（松柏社）
その他適宜プリントを配布

参考図書

影山太郎、日比谷潤子、プレント デ・シェン 著『First Steps in English Linguistics 英語言語学の第一歩』（くろしお出版）

留意事項

クラスへの積極的参加、予習・復習が求められる。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	ET		13501	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員（科目「社会」）（箕野） 私立中学高等学校教員（科目「英語」）（宮副）			

授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。（箕野）

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。（宮副）

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。（箕野）

英米の児童文学の文化と歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外ではフランスの1作品を鑑賞する。（宮副）

授業計画

- 巖谷小波「日本昔噺其一桃太郎」
- 「金太郎」・「酒吞童子伝説」
- 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 有島武郎「一房の葡萄」
- 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 岡田淳「竜退治の騎士になる方法」
- 日本の現代児童文学について
- 英米の児童文学の歴史
- ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
- ナーサリーライム（マザーグース）
- L.M.オルコット『若草物語』
- R.L.スティーブンソン『宝島』
- L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- ベアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。（箕野）
講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。（宮副）

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験（レポート）30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。（箕野）

平常点30% レポート 2回 60% 提出物等 10%、で評価する。（宮副）

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。（箕野）
『英米児童文化 55のキーワード』白井澄子、笹田裕子編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。（宮副）

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英米文学研究			13521	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	2				

授業の到達目標

様々な国々とジャンルの英語文学を楽しく読みながら、文学読解に注目すべき要素やさまざまな表現法を学ぶ。同時に、それらの作品に表現されている海外の文化を理解する。このクラスでは、KAISEI パーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を考える。

授業の概要

授業では、Edgar Allan Poe、Charles Dickens、James Joyce、Ernest Hemingway、Alice Munro など著名な作家の短編について解説されたテキストで学ぶとともに、その原書についてもできる限り読みすすめることとする。原書を正確に読解し、それぞれの作品にこめられたテーマを理解することにより深く感動する経験をしてもらいたい。
原書読解する作品については、担当者を決めて発表後、グループディスカッションを実施する。またレポートの提出も必要である。またDVDなどの視聴覚教材によって「読み、聴き、書く」という英語の3分野のスキルを養成する。

授業計画

- 1 Introduction
- 2 1. Edgar Allan Poe について
- 3 1. "The Tell-Tale Heart" 発表とディスカッション
- 4 2. Charles Dickens/ "A Christmas Carol"
- 5 3. Charlotte Perkins Gilman について
- 6 3. "The Yellow Wallpaper" 発表とディスカッション
- 7 6. James Joyce について
- 8 6. "The Dead" 発表とディスカッション
- 9 7. Katherine Mansfield について
- 10 7. "The Garden Party" 発表とディスカッション
- 11 9. Earnest Hemingway について
- 12 9. "Hills Like White Elephants" 発表とディスカッション
- 13 29. Alice Munro/ "The Bear Came Over the Mountain"
- 14 30. Ha Jin/ "Saboteur"
- 15 Conclusion

授業の方法

講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、

およびグループディスカッションにより授業をすすめる。

準備学修

Webを参照する。

課題・評価方法、その他

授業内での積極的な発表や意見交換を高く評価する。
また、原書読解作品についてレポートを作成する。

平常点30% レポート 60% 提出物等 10%、で評価する。

欠席について

規定に従う。

テキスト

『TOP 30－Essential Short Stories in English: 1843 to 2000 』Jim Knudsen 著 南雲堂
および、プリントを配布する。

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

留意事項

授業で取り上げる原書の作品、および授業進度は、学生の要望や読解力等により変更することがある。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
比較文化論			13830	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	選択	2				

授業の到達目標

世界情勢を的確に把握し、広い視野、幅広い知識と洞察力を持って積極的に行動できる人材が求められている。異文化を理解し、自文化が発信できる人材の育成を目指す。このクラスではKAISEI パーソナリティのIn（国際性）を身につける。

授業の概要

本授業では、日本と日本を取り巻くグローバル社会の文化を比較し、歴史的・風土的・地政学的観点から、自文化と異文化に対する幅広い知識と洞察力を養う。同時にそれを活用して、自身が企画した文化比較についてプレゼンテーションを行い、自己発信力を育成する。

授業計画

- 1 身近にある異文化理解 その1
＜人魚＞をテーマに、アンデルセン（ヨーロッパ）・ディズニー（アメリカ）・小川未明（日本）の表現の違いを考察する。
- 2 身近にある異文化理解 その2
＜MANGA＞をテーマに、日本の漫画の発展と世界進出について考察する。
- 3 身近にある異文化理解 その3
＜宝塚歌劇＞をテーマに、宝塚歌劇におけるフランスのレビューの影響を考察する。
- 4 身近にある異文化理解 その4
＜人形＞を題材に、日本、台湾、インドネシアなど、各国の人形文化がどのように発展していったかを考察する。
- 5 プレゼンテーション(1)「身近にある異文化理解」
- 6 プレゼンテーション(2)「身近にある異文化理解」
- 7 プレゼンテーション(3)「身近にある異文化理解」
- 8 歴史的・風土的・地政学的比較文化 その1
ブラジル移民。政府の政策と神戸港の対応。
- 9 歴史的・風土的・地政学的比較文化 その2
ベラルーシ。原子力発電所事故影響からの立ち直り。日本との繋がり。
- 10 歴史的・風土的・地政学的比較文化 その3
パラオ。南洋諸島と戦前の日本委任統治
- 11 歴史的・風土的・地政学的比較文化 その4

- 小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）がみた日本・神戸
12 プレゼンテーション(4)「歴史的・風土的・地政学的比較文化」
13 プレゼンテーション(5)「歴史的・風土的・地政学的比較文化」
14 プレゼンテーション(6)「歴史的・風土的・地政学的比較文化」
15 まとめと質疑応答

授業の方法

教員の講義と学生のプレゼンテーションとによる参加型授業

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

毎回ノートの提出を義務づける。提出されたノートは、教員が指導してフィードバックする。出席状況（30％）、ノート評価（30％）、発表（20％）、レポート（20％）により評価する。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて紹介する

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅱ			13709	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「英語」)			

授業の到達目標

中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導の基礎及び異文化理解を、次に続く英語科教育法Ⅲ・Ⅳの授業との連携も視野に入れて徹底する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）、In（国際性）、E（倫理）を学ぶ。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」の養成を重要な柱と位置づけ、以下（授業計画）の具体的項目に関して教育法の鳥瞰図の全体像を示し、学生の自覚・理解を促す。

授業計画

- 1 はじめに:授業の概要について
- 2 学習指導要領の理解
- 3 英語の指導目標と内容
- 4 学習者の要因
- 5 言語習得の理論と諸問題
- 6 発音の指導
- 7 文字と綴りの指導
- 8 語彙表現、文法の指導
- 9 リスニングの指導
- 10 スピーキングの指導
- 11 リーディングの指導
- 12 ライティングの指導
- 13 言語技術を統合した指導
- 14 異文化理解
- 15 総括(複数領域を統合した言語活動の指導を中心に)
- 16 定期試験

授業の方法

講義のほかに各自の発表を多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題：講義のテーマによってはレポート作成を課し、講義中、あるいは個人指導においてフィードバックを行う。
評価方法：平常点30%、定期試験70%
授業中の積極的な質疑応答を高く評価する。

欠席について

欠席・遅刻については一定の比率で減点する。

テキスト

土屋澄男・広野威志『最新英語科教育法入門』研究社

参考図書

白井恭弘『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』（岩波書店）
中学校学習指導要領解説 外国語編【最新版】（文部科学省）
高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編【最新版】（文部科学省）
その他、必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

課題担当者は、発表の内容のみならず、プレゼンテーションの方法も工夫すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュⅠ	ET		13725	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語教育における背景知識や教材、多様な指導技術、評価などを、小学校の役割及び中・高等学校の外国語教育との連携を視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

小学校学習指導要領における「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導について、児童期の学習者の特性と英語授業の在り方を踏まえた知識と技術を以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。

授業計画

- 1 小学校外国語教育の目標・内容(1)年間指導計画と小中高連携
- 2 小学校外国語教育の目標・内容(2)教材研究と学習指導案作成法
- 3 小学校外国語教育の目標・内容(3)ICTの効果的な活用法
- 4 コミュニケーション能力を育成する指導法 ティームティーチング
- 5 コミュニケーション能力を育成する指導法 発話を促す活動
- 6 小学校英語教材研究(1)音声習得中心の活動
- 7 小学校英語指導法(ワークショップ)(1)音声習得中心の活動
- 8 小学校英語教材研究(2)文字習得中心の活動
- 9 小学校英語指導法(ワークショップ)(2)文字習得中心の活動
- 10 小学校英語教材研究(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 11 小学校英語指導法(ワークショップ)(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 12 小学校英語教材研究(4)言語使用の場面・背景(物語)に焦点を当てた活動
- 13 小学校英語指導法(ワークショップ)(4)物語の場面・背景に焦点を当てた活動
- 14 小学校英語 模擬授業
- 15 Can・Doによる英語能力の測定とパフォーマンス評価、模擬授業の振り返り

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著） mpi松香フォニックス
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校学習指導要領〈平成29年度告示〉解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
『Let's Try! 1』『Let's Try! 2』文部科学省
その他、必要に応じて、随時紹介する。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 101	101-1		13903	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
佐伯 瑠璃子	必修	1				

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, Show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 1 Cultural Studies, Reading One: Tony the Traveller
- 3 Reading One, Reading Two: The Benefits of Studying Abroad
- 4 Reading Two, Reading Three: The Way of St. James
- 5 Reading Three
- 6 Review
- 7 Mid Term
- 8 Chapter 2 Multicultural Literature, Reading One: Mangoes and Magnolias
- 9 Reading One, Reading Two: Poems about Personal Identity
- 10 Reading Two, Reading Three: Book Review of Mixed
- 11 Reading Three
- 12 Review
- 13 Chapter 3 Health Science, Reading One: Robots Improve Health Care
- 14 Reading One
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Academic Reading Series 2: Reading Skills for College, Kim Sanabria, Pearson

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 101	101-2		13903	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	1				

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, Show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 1 Health Science, Reading One: In the Presence of Animals
- 3 Reading One
- 4 Reading Two: Canine Companions May Help Kids Learn to Read
- 5 Reading Two
- 6 Review
- 7 Mid Term
- 8 Chapter 2 Psychology, Reading One: Young Football Players Injured, but Not Forgotten
- 9 Reading One
- 10 Reading Two: Who Moved My Cheese?
- 11 Reading Two
- 12 Review
- 13 Chapter 3 Linguistics, Reading One: An Unbreakable Code
- 14 Reading One
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Academic Reading Series 1: Reading Skills for College, Elizabeth Bottcher, Pearson

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 600	a/b		13947	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
Cory McKENZIE／James C. JENSEN	選択	2				

授業の到達目標

Upon completion of this course, students will be able to :

- participate in group discussions and interviews
- lead a group discussions
- agree and disagree with opinions
- ask for and give clarification
- use a variety of intonation and word stress for key words
- demonstrate increasing conversation skills in common real-life situations, using appropriate vocabulary
- prepare and deliver two 3-5 minute classroom presentations focusing on preparation, organization, and use of PowerPoint and other visual aids

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include city life, equipment, accidents and injuries, and survival items.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 8 Places to Live
- 3 Unit 8 Places to Live
- 4 Unit 9 Old and New
- 5 Unit 9 Old and New
- 6 Review
- 7 Presentations
- 8 Mid Term
- 9 Unit 10 Take Care
- 10 Unit 10 Take Care
- 11 Unit 11 The Best Things
- 12 Unit 11 The Best Things
- 13 Review
- 14 Presentations
- 15 Presentations

授業の方法

Students will work together in pairs and groups.

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 20%

Tests and Quizzes 10%

Presentations 40%

Class Participation 20%

Homework 10%

欠席について

100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Cutting Edge Pre-Intermediate, 3rd ed. Sarah Cunningham, Chris Redston with Peter Moor

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation in class is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 601			13949	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	2				

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 8 A Young Blind Whiz
- 3 Chapter 8 A Young Blind Whiz
- 4 Chapter 9 How to Make a Speech
- 5 Chapter 9 How to Make a Speech
- 6 Chapter 10 Conversational Ball Games
- 7 Chapter 10 Conversational Ball Games
- 8 Mid Term
- 9 Chapter 11 Letters of Application
- 10 Chapter 11 Letters of Application
- 11 Chapter 12 Out to Lunch
- 12 Chapter 12 Out to Lunch
- 13 Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
- 14 Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 40%

Tests and Quizzes 30%

Class Participation 20%

Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford, Select Readings Intermediate, 2nd edition. Linda Lee & Erik Gundersen
Harper Collins, Sarah, Plain and Tall. Patricia MacLachlan

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと人間関係			17434	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

授業の到達目標

幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解し、幼児期の人間関係の発達について、園生活における関係発達論的視点から理解する。

授業の概要

現代の幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身に付ける。特に領域「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論を理解し、関係発達論的視点について学び、他者との関係や集団との関係の中で幼児期に人と関わる力が育つことを理解する。

授業計画

- 子どもと取り巻く人間関係(現代社会と幼児の人間関係)
- 保育における人間関係(領域「人間関係」、園生活の中で育まれる「人間関係」)
- 乳児期の人間関係(0歳児の人間関係、愛着、大人(保育者、保護者)の役割)
- 1歳以上3歳未満児の人間関係(自我の芽生え、遊びと生活、保育者の役割)
- 3歳以上児の人間関係(自我の育ちと自己調整、遊びと生活、保育者の役割)
- 子どもの人間関係と社会性・道徳性(自己理解、他者理解、道徳性の育ち)
- 家庭や地域との連携(保護者と保育者の人間関係、地域、専門機関との連携)
- 保育者が紡ぐ「人間関係」(保育者自身の人間関係、子ども理解)まとめ定期試験

授業の方法

保育実践の事例等を取り入れ具体的にわかりやすい講義を行う。グループ討議等を行い、課題意識を持って主体的に取り組めるようにする。

準備学修

Webで参照とすること。

課題・評価方法、その他

平常点50% 定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点減点とする。

テキスト

ワークで学ぶ保育内容「人間関係」 みらい
幼稚園教育要領解説

参考図書

授業内で紹介する。

留意事項

毎回の出席と主体的な取り組みを心がけること。
日頃から人間関係力について考えておくこと。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合はオフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC		17437	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「社会」)(箕野) 私立中学高等学校教員(科目「英語」)(宮副)			

授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI(知性)を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)、In(国際性)を養う。(宮副)

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)

英米の児童文学の文化と歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外ではフランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

授業計画

- 巖谷小波「日本昔噺其一桃太郎」
- 「金太郎」・「酒吞童子伝説」
- 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 有島武郎「一房の葡萄」
- 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 岡田淳「竜退治の騎士になる方法」
- 日本の現代児童文学について
- 英米の児童文学の歴史
- ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
- ナーサリーライム(マザーグース)
- L.M.オルコット『若草物語』
- R.L.スティーブンソン『宝島』
- L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- ベアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。(箕野)
講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。(宮副)

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験(レポート)30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。(箕野)

平常点30% レポート 2回 60% 提出物等 10%、で評価する。(宮副)

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)
『英米児童文化 55のキーワード』白井澄子、笹田裕子編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。(宮副)

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。